



Yochu-JUMP

第6号



与那原中学校 (Y) 授業力 (J) アップ (Up) 元気 (Moxie) プロジェクト (P) R5.12.12発行

1人1授業3参観はお済みでしょうか？お忙しい中ではありますが、計画的に実施をお願いします。各先生方にも呼びかけしてたくさんの先生方に参観してもらい、お互いのレベルアップに努めましょう！

単元のゴールが明確にイメージされた good model

姫園先生の授業で圧倒されたのは、冒頭の約5分間、**English only**で授業を展開していたことです。号令から始まり、帯活動のショートトーク、生徒への声かけや指示などもすべて英語で展開しています。これだけ**日常的に英語に触れさせる**ことで、生徒は自然に英語力を身につけていくと感じます。実際の生徒同士の対話においても英語で自然にリアクション（相づち）をする姿がとても素敵でした。

また板書には、本時のめあてとは別に**単元目標を明確に示して**います。また、ただ提示するだけでなく、単語や構文が出たときに合わせて単元目標を意識させるなど、この**単元で生徒に身につけさせたい能力が明確**になっていることは、現行指導要領実施のポイントであり、他教科においても重要視してほしい素晴らしいモデル授業です。

さらに、全体を通して、**読む・書く・聞く・話すの4技能**をすべてしっかりカバーしており、その**バランスも良かった**と感じます。

自分自身が交換留学生に扮して生徒にあいさつをして授業を盛り上げるなど、明るい姫園先生のキャラクターを存分に生かした楽しい授業であつたという間の50分でした。また、本授業には**与中英語科の先生方が全員参観**するなど、そのチームワークの良さもさすがでした。

英語科 仲村 姫園 先生



与中英語科全員で授業を見守っています！

学習意欲を高める工夫と称賛・激励の丁寧な声かけ

これから本格的に内容に入るための「漢文」の読み方〔返り点〕についての学習を参観させてもらいました。学生時代、漢文が苦手だったという先生方（自分も含めて…）も多かったことかと思いますが、返り点が用いられる理由やその読み方について、中国と日本の共通点や相違点にも触れながら、**わかりやすく解説**しています。

また例文では、**難易度（中学～高校レベル）を設定**することで、生徒の**学習意欲を高める工夫**をしています。正答を確認した後に、さらにその判断の理由を口頭で説明させる活動を取り入れるなど**学習内容の定着を図る工夫**が見られました。生徒は班ごとに相談しながら、積極的に例題にチャレンジしていました。しっかり考えることのできた**生徒への称賛**やなかなか集中できていない**生徒への激励**など、**丁寧に声かけ**をしながらメリハリのある授業を展開していました。

国語科 柴引 智彦 先生



ふちっ DTK

道徳の授業で使えるような話題（歌・言葉・本など）を紹介します！



「Please share.」

／姫園先生の授業より

「Please share.」は本号で紹介した姫園先生の授業で使われていた言葉です。良い英作文を書くことができている生徒に対して、「みんなに共有してもらえませんか？」という声かけになります。道徳科の授業における生徒の発表もまったく同じスタンスだと考えます。本人の意思を尊重しつつ「ぜひ、みんなで共有したい考えなので紹介してもらえませんか？」という教師の意識で、気持ちよく自分の考えが表現できる雰囲気をつくりたいですね。